

第2予算審査特別委員会（第3日目）

H31.3.15（金）10：00～

第一委員会室

開 会 9：55

委員動静報告

委員長

ただいまの出席委員数は7名であります。

欠席の申し出は、関藤委員です。

これより本日の会議を開きます。

議案第2号 平成31年度滝川市国民健康保険特別会計予算

委員長

議案第2号 平成31年度滝川市国民健康保険特別会計予算について説明を求めます。

館部長

（議案第2号を説明する。）

原田課長

（議案第2号の詳細を説明する。）

委員長

説明が終わりました。

荒 木

これより質疑に入ります。質疑ございますか。

今ご説明をいただいて大分わかりましたが、ちょっと確認なのですが、参考資料の24ページの保険給付の一般被保険者の1人当たりの医療費、医療費の増額を見込んで1人当たりの医療費というのは1.1パーセント増ということで見込むのですか。それと、もし何もないというのであればそれはそれでいいのですけれども、最終的に国保の広域化の目的は保険料の平準化に向かっていくのだろうと思うのですが、31年度でそういう兆候というか、そういう方向に向けた動きというのは出てくるのですか。

原田課長

2点目の保険料の平準化の件につきましては、北海道の運営方針というのが30年度に示されまして、35年度までの分が示されているような形になりますけれども、一応36年度をめどに保険料水準の統一をしたいという方針は示されています。それは保険料の統一ということではなく、保険料水準、医療費水準ですとか、その部分について全道統一していきたいという方針は示されておりますが、具体的な数字等ははまだ示されておられません。

大崎係長

1人当たり医療費が1.1パーセント増加しているというのは医療費の増によるものかということのご質疑に対してですが、医療費につきましては、予算のほうで31年度は5.4パーセント増ということで記載しておりますが、こちらのほうにつきましては、各医療機関などに払えないということのないように十分な額を積算しているところでございます。

それに対しまして1人当たり医療費が1.1パーセント増ということにつきましては、被保険者自体は減少していますので、単純に医療費という部分でいけば、被保険者が少なくなっているの、少なくなるであろうという単純な数字にはなるのですけれども、1人当たり医療費ということにつきましては、例えば医療の高度化であるとか、あと高額なお薬の承認などということがございまして、1人当たり医療費というのは毎年やや増加傾向にあるということでございますけれども、医療費全体の増と1人当たり医療費の増というのは被保険者数自体は下がっているということがありますので必ずしもイコールということにはなりません、1人当たりがふえている要因というのは、そういったことで医療の高度化及び高額な薬の承認などの部分によるところが大きいと思います。

荒 木

保険料水準というものをもうちょっとかみ砕いて、具体的にどういうことなの

か伺います。

原田課長 納付金を算定するに当たって、全道それぞれの市町村の所得の水準、所得が全道平均より高いのか低いのかということと、あと医療費の水準ということで、医療費が平均より高いのか低いのかによって納付金の額も変わってくるということになっているのです。そのうちの医療費の水準について差を反映させない形で統一していこうと、そういうことが道の方針として示されております。

委員長 ほかにも質疑ございますか。

東 元 198ページに特定健診の診査等事業費が計上されておりました、先ほどご説明の中で受診率は41パーセントという話だったのですが、これは地域的に見て高いのか低いのか、それが1点と、正直申し上げて私も受け始めたのは3年前からなのですが、全市的に受診率は上がっているのか下がっているのか、その辺をお聞かせいただければと思います。

林課長補佐 受診率につきまして最初にお答えさせていただきますけれども、まず特定健診の受診率につきましては、23年度は19.9パーセントと非常に低い数字でありましたけれども、24年度以降については上昇を続けておりました、21.4パーセント、以後徐々に上がりまして、29年度は34.1パーセントとなっております。

大崎係長 受診率が高いのか低いのかということのお話なのですが、滝川市の受診率は年々上昇傾向にありますけれども、29年度の北海道全体の受診率の平均は28.1パーセントということで出ておりますので、その中で滝川市は34.1パーセントということで、毎年伸びているということに関しましては、一般的には人口の低いところで結構高い数字を出しているところもあるのですが、毎年この中ではどんどん上がってきているのかなと思っております。

委員長 ほかにも質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 それでは、ほかにも質疑はないようですので、質疑の留保はなしということで確認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長 それでは、以上で議案第2号の質疑を終結いたします。
暫時休憩します。

休 憩 10 : 15
再 開 10 : 16

委員長 休憩前に引き続き会議を再開します。

議案第5号 平成31年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算

委員長 議案第5号 平成31年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算について説明を求めます。

館部長 (議案第5号を説明する。)

委員長 説明が終わりました。

山 本 これより質疑に入ります。質疑ございますか。

後期高齢者の保険料の関係なのですが、参考までということで、個人で保険料を直接払われている方と、かわりに家族のほかに所得のある方が世帯によっては払っている人もいると思うのですが、その割合というのはどのぐらいかわかりますか。

橋本課長補佐 口座引き落としをご希望されている割合というご質問だと思いますが、まず、特別徴収ということで年金から引かれている方が78パーセント強でございます。

て、残りは普通徴収ということで21パーセント強でございます。普通徴収のうちさらに口座振替を希望されている方が63パーセントの方でございます、件数でいきますと952件でございますが、振込先がご本人名義かご家族名義かまでは、申しわけございませんが、把握しておりません。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、ほかに質疑はないようでございますので、質疑の留保はなしということで確認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長

以上で議案第5号の質疑を終結いたします。
暫時休憩します。

休 憩 10:24

再 開 10:26

委員長

休憩前に引き続き会議を再開します。

本日まで3日間質疑を行ってきましたけれども、市長に対する総括質疑への留保はなしと確認してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、確認いたしましたので、以上で全ての質疑を終結いたします。
ここで暫時休憩したいと思います。再開は11時ちょうどといたします。それでは、休憩いたします。

休 憩 10:26

再 開 10:55

委員長

休憩前に引き続き会議を再開します。

討論

委員長

これより討論に入ります。

討論順序につきましては、初日に決定しておりますとおり、会派清新、会派みどり、新政会、公明党、日本共産党の順となります。

最初に、会派清新、東元委員。

東 元

会派清新を代表いたしまして、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号並びに関連議案の全てを可とする立場で討論いたします。

5年前、減少を続ける若年女性人口の予測から導き出され、896の自治体が消滅しかねないという地方消滅論は衝撃のデータでした。若者が子育て環境の悪い東京圏へ移動し続けた結果日本は人口減少社会に突入し、本市を含め多くの地方では既に高齢者すら減り始め、大都市では高齢者が激増していきます。

その中で、地方に人々がとどまり、希望どおりに子供を育てる社会へ変わるための戦略を考える地方創生がスタートし、2019年度は5年目を迎えます。人口減少を少しでも克服し、未来にわたりまちの成長を維持するため、本市においても知恵を出さなければなりません。そのような中予算編成に当たられました市理事者並びに関係職員の皆様に敬意を表するとともに、平成の御代が幕をおろす新年度に向けて、諸課題に対するより一層の努力をされますことをお願いいたします。

各特別会計、事業会計におきましては、人口減少が進む中健全経営に向けて努力されてはいますが、今後財源の確保は一層厳しくなっていくと思います。特に病院事業会計は、医師不足、看護師不足による病棟の一部閉鎖など厳しい経営環境

委員 長
山 本

にあります。医師、看護師の働き方改革を進めつつ、病院スタッフ一丸となり市民の健康を守るためにも赤字体質からの脱却を目指し努力をされることをお願いし、会派清新の賛成討論といたします。

次に、会派みどり、山本委員。

会派みどりを代表して、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号の平成31年度特別会計5件、事業会計2件、議案第18号及び議案第21号の全てを可とし、若干の意見を付して討論いたします。

滝川市の経済情勢は依然として厳しい中、各会計の執行においても財政健全化計画により理事者、職員の財政健全化に取り組む姿勢に敬意を表するところで

す。本年は骨格予算となっているが、各会計では一般会計からの繰入金、基金の切り崩しが散見され、依然厳しい予算編成となっている。市民と行政が一体となったまちづくりを力強く推進するためにも、しっかりと市民が納得いく事業目的、効果を鮮明にし、市民の健康と生活の向上と安心できるまちづくりに努めていただきたい。

国民健康保険特別会計、国民健康保険税の公平に努め、収納率向上に引き続き努力されたい。事業展開では特定健康診査受診率の向上に努め、市民の健康増進こそが本会計の健全化につながるの、より一層の取り組みを求めます。また、低所得世帯に対しては現状を十分に把握された中での執行に努められたい。公営住宅事業特別会計、滝川市ストック総合活用計画に基づき市営住宅の建てかえが予定どおり進んでいます、公営住宅の空き状況の解消に向け入居率向上に努力願いたい。また、指定管理が行われているが、利用市民からのニーズに応える努力を望みます。公平性の確保を図る上からも、滞納者への徴収業務に一層努力されたい。

介護保険特別会計、今後ますます高齢化が進む中で介護の多様なニーズがあるが、高齢者が住みなれた地域で自立した日常生活を送る事業を望みます。多岐にわたる介護サービス事業を提供するに当たっては、利用者の立場に立ったサービスの充実に努められたい。

後期高齢者医療特別会計、後期高齢者医療特別会計では、高齢化社会という現実からの制度の中で、予算執行に当たっては適正に対応するとともに、市民の高齢福祉の向上に対し広域連合と連携を図るように努めていただきたい。

土地区画整理事業特別会計、完成により地域の利便性の向上が期待されるが、区画された土地の有効活用を望みます。

下水道事業会計、今後も人口減少が進む中、下水道事業を支える利用者が当然減少すると思われる。多くの管や施設等の更新が必要となってくるが、収入減が予想されるが、利用料の増加を招かない方策を検討していただきたい。

病院事業会計、地域の基幹病院としての使命を果たすべく、地域の医療機関との連携を強化するとともに、医師、看護師の安定的かつ継続的な確保と職場環境整備に十分対応を図っていただきたい。厳しい経営環境に置かれているが、一般会計繰入額が財政基準以下の状況が続いているが、本市の一般会計も依然として厳しい状況にあり、繰り入れの増額は難しいと思われ、より一層の経営努力を求めます。

以上で会派みどりの賛成討論とさせていただきます。

委員 長

次に、新政会、井上委員。

井 上

それでは、新政会を代表いたしまして、第2予算審査特別委員会に付託されました平成31年度予算関連議案第2号から第8号まで、議案第18号及び第21号の9件につきまして可とする立場で討論をいたします。

初めに、厳しい財政状況の中、経費節減など無駄を省き、効率的かつ効果的な予算編成に尽力された市理事者並びに職員の皆様に敬意を表します。

さて、平成31年度は統一地方選挙の年であります。当初予算については継続事業を中心とした骨格予算となります。滝川市財政健全化計画、滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の最終年度の予算でもあります。引き続き地方創生と財政健全化を両輪として進めていく必要があるものと考えます。これは車に例えればブレーキとアクセルの働きであります。どちらも重要であります。

さて、本年は平成最後の年であります。行政、議会、力を合わせて滝川市を力強く前に進める必要があると考えます。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

病院事業会計、地域の基幹病院としての使命を果たすべく、滝川市立病院経営計画に基づき日々努力されていることに敬意を表します。さて、滝川市立病院は4月から内科の一部44床が休床になるということが発表になりました。滝川市民に大きな衝撃が走っております。市立病院は言うまでもなく地域の基幹病院であります。その使命を全職員が共有し、滝川市立病院経営計画の着実な実践が必要なときであります。市立病院の医師、看護師の確保は、病院の健全経営の視点から最も重要な課題と考えます。市理事者、病院、市内医療機関と連携を密にし、その解決に全力を挙げていただきたい。

公営住宅事業特別会計、住宅ストックの適正管理について今後10年を見据えた滝川市住宅基本計画、滝川市公営住宅等長寿命化計画、滝川市耐震促進計画が打ち出されているところでありますが、いずれも非常に重要な計画と考えますが、地域政策的に考えると、その上位計画である滝川市総合計画、滝川市都市計画マスタープランがあります。その中で、都市核の1つである江部乙あるいは東滝川についていえば、公営住宅は非常に重要な位置を占めております。今回の審査において、公住全体の入居率は86.36パーセントであります。233戸があいている状況であります。空き家が非常に多い状態です。特に東滝川、江部乙に空き家が多いことが判明いたしました。今後、住宅政策において地域政策的な視点を入れる必要が重要と考えます。この地域にとっては長年培った地域コミュニティの崩壊につながる重要な課題であります。また、全体的にいうと、入居率を改善する抜本的な対策が必要と考えるところであります。

以上申し上げて、新政会を代表しての賛成討論といたします。

委員長
三 上

次に、公明党、三上委員。

公明党を代表して、第2予算審査特別委員会に付託されました議案第2号から第8号並びに関連議案の全てに対して賛成の立場で討論いたします。

平成31年度は、まち・ひと・しごと創生総合戦略と財政健全化計画の最終年度を迎えます。私はこれまでの4年間の総仕上げとなるとともに、未来につなぐ1年としていかなければならないと考えております。今回の予算編成は骨格予算にもかかわらず、ご苦労されました理事者、職員の皆様に敬意を表します。

以下、市長に対し1点申し上げます。本市を初めとする中空知地域全体の人口減少に歯どめがかからない現状において、病院事業については近隣の自治体病院との経営統合を視野に、新年度から仮称、なかそらち公立病院設立協議会を

委員長
館内

設置して地域の医療を守る体制を築いていただくことを期待し、討論いたします。

それでは最後に、日本共産党、館内委員。

私は、日本共産党を代表して、第2予算審査特別委員会に付託されました平成31年度、議案第6号、土地区画整理事業特別会計予算を否とする立場で、また議案第2号、第3号、第4号、第5号、第7号、第8号を可とする立場で討論を行います。

まず初めに、大変に厳しい財政状況の中で、市民生活を第一に経費削減などで無駄を省きつつ効率のよい行政運営に当たられました市長、理事者、職員の皆様に敬意を表します。

土地区画整理事業特別会計につきましては、道路については平成31年度中の開通が見込まれておりますが、深く質疑は行いませんでしたが、財政状況が厳しい中で、将来にわたる道路の維持管理について、きちんとした維持ができるのか疑問に感じているところでございます。

続いて、病院事業会計については、患者数の減少、看護師不足による病棟の一部44床を休ませることがありながらも、病院職員が一体となって健全運営に取り組んでおられることを評価したいと思っております。

以上、短くはありますけれども、日本共産党の討論といたします。

委員長

以上で討論を終結いたします。

討論要旨につきましては、整理して、3月22日までに事務局へ提出をお願いいたします。

採決

委員長

これより採決を行います。

反対討論のありました議案のうち、先に

議案第6号 平成31年度滝川市土地区画整理事業特別会計予算

を挙手により採決いたします。

本件を可とすべきものと決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

委員長

挙手多数であります。

よって、本案は可とすべきものと決しました。

次に、残りの

議案第2号 平成31年度滝川市国民健康保険特別会計予算

議案第3号 平成31年度滝川市公営住宅事業特別会計予算

議案第4号 平成31年度滝川市介護保険特別会計予算

議案第5号 平成31年度滝川市後期高齢者医療特別会計予算

議案第7号 平成31年度滝川市下水道事業会計予算

議案第8号 平成31年度滝川市病院事業会計予算

議案第18号 滝川市老人デイサービスセンター条例の一部を改正する条例

議案第21号 滝川市下水道条例及び滝川市個別排水処理施設条例の一部を改正する条例

の8件を一括採決いたします。

本案をいずれも可とすべきものに決することに異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

委員長

異議なしと認めます。

よって、本案はいずれも可とすべきものと決しました。
お諮りいたします。委員長報告につきましては、正副委員長にご一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委員長

そのように決定させていただきます。
以上で本委員会に付託されました議案の審査は全て終了いたしました。

挨拶

委員長
市長

この場合、市長から発言の申し出がありますので、これを許したいと思います。
それでは、委員長にお許しをいただきまして、第2予算審査特別委員会の閉会に当たりまして一言ご挨拶申し上げたいと思います。

小野委員長、田村副委員長初め委員各位におかれましては、本日までの3日間、提出させていただきました議案につきまして積極的、精力的に議論いただき、ただいまいずれも可としてご認定いただきましたことに心からお礼を申し上げる次第でございます。

いろいろと議論された内容、またただいま討論に付された意見等々参考にしながらこれからの予算執行に当たる所存でございますので、今後ともご指導よろしくお願い申し上げまして、閉会に当たりましてのお礼のご挨拶とします。大変ありがとうございました。

委員長

それでは、終了のご挨拶をさせていただきます。3日間ともスムーズな運営について協力いただきましたこと、ありがたく、御礼を申し上げます。これからまた難しい市政運営、いろんなことがあると思いますが、こういう予算委員会は大事だと思いますので、これからも改めて皆さんで協力しながら、議会をさらに発展させながら討論を進めていきたいと思っています。3日間どうもありがとうございました。

以上で第2予算審査特別委員会を閉会いたします。

閉 会 11 : 15